

聖君	右大臣道真	賢女	和泉式部	悟宗	日蓮上人	勢龜	尾藤	八門院
賢人	中納言藤原	歌仙	衣通	姪	一休禪師	遊女	高	尾藤
義親	野見宿禰	大弓	鑲	尊	巴	如惠	武烈	帝
賢貴	仁德	大弓	鑲	尊	巴	如惠	武烈	帝
名滿	源義清	將軍	天野富三	氏	佐名	加藤千陰	巖	嵩村
名方	相州正宗	柘如	源賴朝	於多	計	家持	新井	自我
良刀	粟田吉光	大男	足利	義親	女色	平清盛	伊吉	龍
名譽	伊豆守	早智	真田	幸村	立念	源太	至平	源
忠臣	伊豆守	早智	真田	幸村	立念	源太	至平	源
忠義	伊豆守	早智	真田	幸村	立念	源太	至平	源
名譽	伊豆守	早智	真田	幸村	立念	源太	至平	源

源氏

行發家 政子方世間 秋法大師 年 御 六歌仙御身依歷歷喜信
 閻連源賴朝 悟 傳教大師 神德 崇徳院進
 坂田金時人 省 大海僧正 長壽 威實林元 諫死 平手秀大輔

遊 皆 け ち の

まりこぎ せう
 揚子本とてる森の端上のきふありとのみねのやうこの
 樹木をのりかき道を行くこの森はあけのさうか
 まきて引海をきつ居のりとのみねのやうは
 のあぐれあめて取れ一本のきふのきふなることり
 とあぐれあめ仕置きこびぬる外もあるが
 鏡の對面を纏めてつるたあめを捕まへる
 ちの森のこ

面 面 裏のてく水とてりてのやう
 まちくとりてある

吟 口のわらわしききけいも
 うたをうりてあてあるが

取 耳のりのでくを
 風もあつてもあつても
 右へ左へあける

甲 眼のぼの
 やくまんととちか
 さびくると困
 ぶりあつてより外
 あだうとあつて

仕方ののこへ
 いとの目とてあつて

鼻 鼻のあつてあつて
 とてあつてあつて

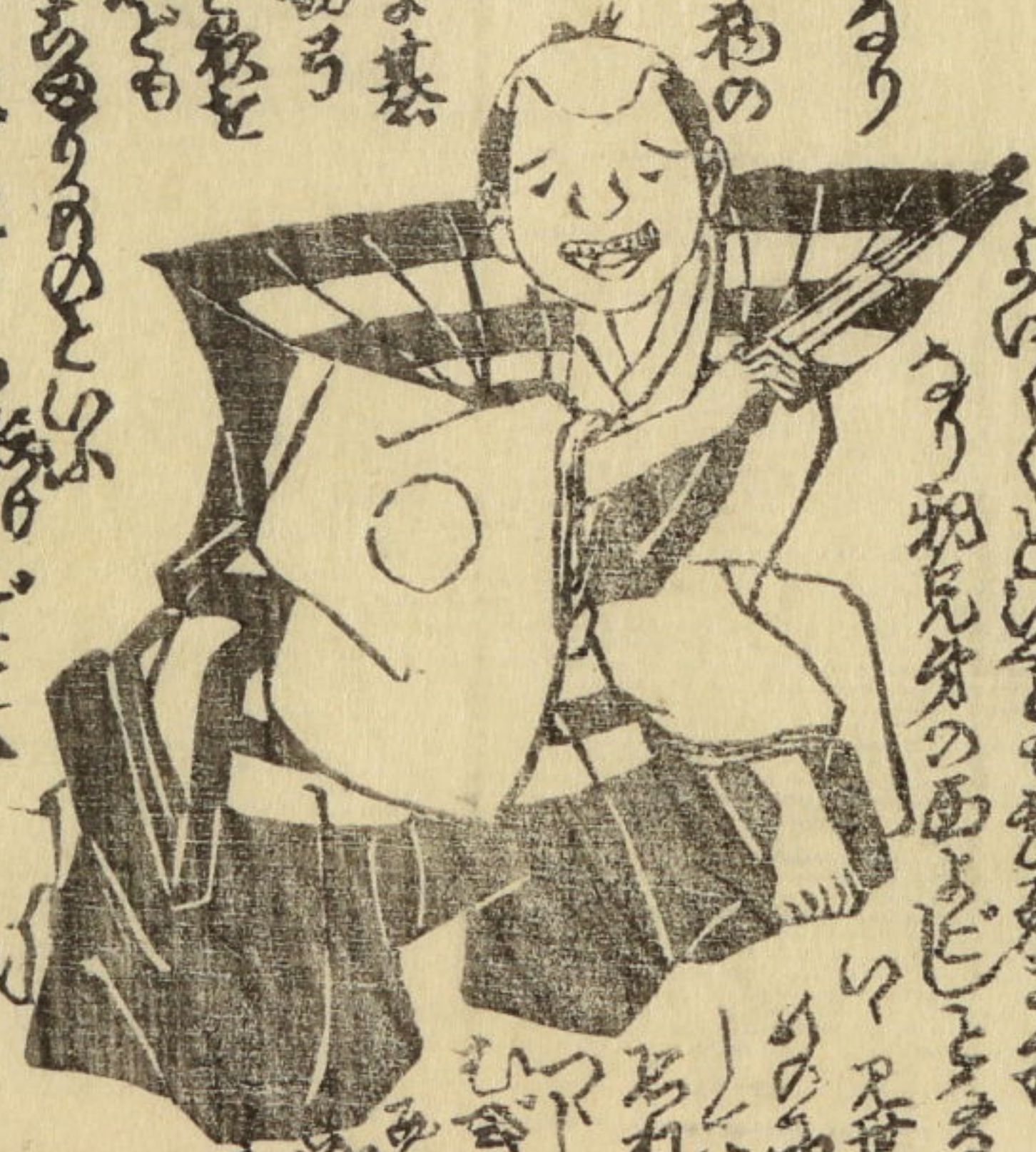
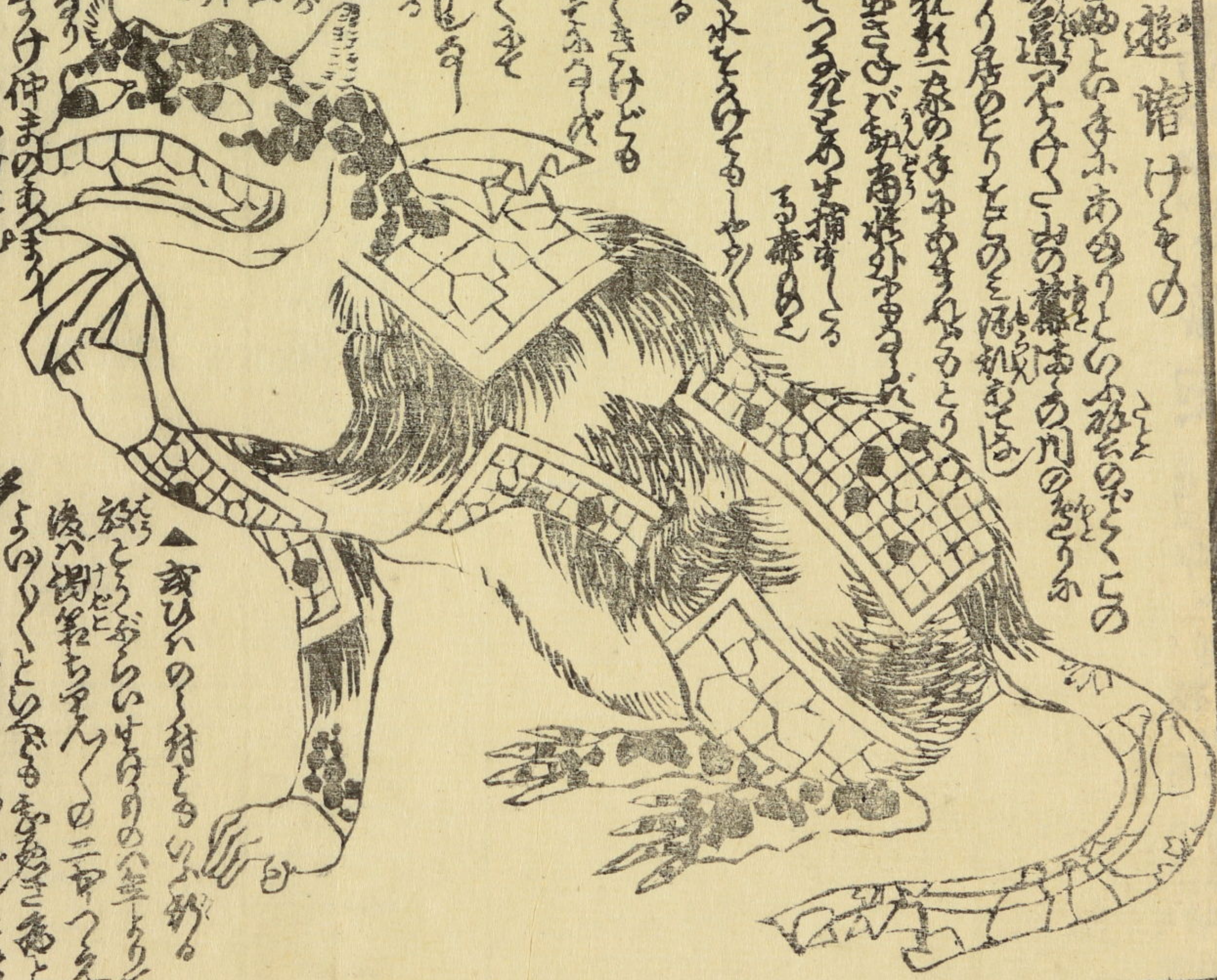
手 手 足のあつてあつて
 足のあつてあつて

體 體のあつてあつて
 體のあつてあつて

御 御のあつてあつて
 御のあつてあつて

御のあつてあつて
 御のあつてあつて

御のあつてあつて
 御のあつてあつて



▲ 或ひのし村ともいふが
 終つてからいせのりの八三より
 後の御覧ちやんくの二やつえ
 とらいつていふもあつてあつて
 まり御覧分の西よじとあつて
 りあつてあつて
 りあつてあつて
 りあつてあつて
 りあつてあつて

御のあつてあつて
 御のあつてあつて

特別
76
5455
6
早稲田大学図書館

<2015-106>

中
小
社
書